2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	成人看護学実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	夜久　泰子	実務経験とその関連資格	関西医科大学附属病院、大阪大学医学部附属病院　計8年勤務			

《授業科目における学習内容》

急性期(急激な健康破綻により生命の危機状況)にある対象の特徴を理解し、状況に応じた援助を実践する。

《成績評価の方法と基準》

実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

《授業外における学習方法》

事前学習、課題学習を行う。

《履修に当たっての留意点》

臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。

実習プログラム

実習期間 時間数	2023年　5月8日～8月24日 合計90時間
実習の目的	急性期にある対象を身体的・精神的・社会的の3側面から説明できる。 急性期にある対象の健康状態や、日々変化する状態を考慮した看護実践ができる。
実習の内容	1)急性期にある対象の身体面・心理面・社会面について理解する。 2)対象が手術に適応できるよう術前の心身の状態を整える。 3)合併症予防のための術前教育を理解する。 4)手術見学を通して麻酔浸襲、手術浸襲、手術中の観察、援助を知る。 5)急激な健康破綻にある対象が順調な回復過程をたどるための看護を実践する。 6)生体機能の回復を促し、状態に合わせた社会復帰のための援助を行う。